

朝、教室に入って来るなり、「センセ、昨日、雷降ったね。」なる程、その日は、強い雨と共に雷が鳴り続いた。  
(一年男児)

朝から汗がにじみ出るような暑さ。そこで「上着の脱げる人は、脱ぎなさい。」という「はーい。」の返事と共に脱ぎはじめる。あれよ、あれよという間に上半身は、シャツまで脱いで裸。そして「脱げたよ。」とすましている。脱げる人とは、この子ども達にとっては、脱ぐことのできる人である事を知らされた。

(一年四月)

梅雨の或る日、昼ごろからにわかには暗くなり、みるうちに夕暮れ時の暗さになった。子ども達は急な天候の変化にザワめく。「わあッ、ぶきみわるい。」  
(二年男児)

#### 国語の時間

「『……』と思います。』ということばは、どんな時に使いますか。」

二年女児「何か自分が思っていたり、考えたりしている事を言う時に使います。」

二年男児「行儀がいいみたい。」

教師「どうして、行儀がいいみたい。」

その男児「遠慮して言うから。」

なる程、キツパリといいきらずにそのあとに「……」と思います。』をつけると柔かい。

校内放送でアナウンサー「きのう、芳垣先生の家にド

ロボウが入りました。あいにく怪我はありませんでした。」

その放送を聞いていた六年男児

SNAP

スナップ

SNAP

れて、けがした方がいいみたい。」

(六年男児)

二年一学期終り頃、「かなしい気持を書きなさい」って作文させた。

「わたしは、うちへかえればだれもいません。きょうは、うちに百円おいてあって、あんパンをかってたべます。でもやっぱりうちにおかあさんやおとうさんがいなければ、さびしくていぬや犬すきなおにんぎょうにだきつきます。まいにち、まいにちさびしくてさびしくてなきそうです。」

と書いたY子ちゃん、作文用紙を手渡しながら、そつと、「本当は、犬にだけだきつくのよ。」と耳打ちした。

以上横浜市立三ツ沢小学校教諭相川真理報告

厳密？

内地留学の身となって、奉職校を離れ、教え子に便りをした。

最高学年の六年生となって、もう二月、感想は？

その返事曰く

二月と書いてあったけれど、三ヵ月か二月後半もたっているの、二月月目のことは書けないけど、ときどき六年生になったというのが信じられなくなりです。  
(相模原市清心小学校教諭清水駿報告)